



TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB 東京中央新ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日(12:30~13:30) 会 場 帝国ホテル3F 舞の間
会 長 福元 智子 幹 事 清宮 普美代
事務局 〒104-0061 中央区銀座8-11-12 正金ビル2F
TEL 03-5537-0270 FAX 03-5537-0271 <http://blog.livedoor.jp/chuoshin/>

2019-2020年度 国際ロータリーテーマ 「ロータリーは世界をつなぐ」

本日の例会 第769回 2020年4月6日(月)

オンライン例会

(3月中の例会は新型コロナ対応によりすべて中止)

❖イニシエーションスピーチ 山本恭子新会員

例会報告 第767回 2020年2月10日(月)

出席率 44.07% 出席者26名+メーキャップ0名
(正会員65名-休会6名)

❖幹事報告(清宮普美代幹事)

- ・本日BOXに週報と2月理事会議事録を配布しました。
議事録に、地区大会でブースを出す田園都市RCに当クラブも協力することになったこと及び来年度の当クラブ役員予定者の紹介がありますので、皆様ご確認下さい。
- ・インフォーマルミーティングが、3月19日(木)に銀座のサンミ高松で予定されています。会員だけでなく、入会検討中の方もお誘いいただけますのでお誘い合わせの上お楽しみ下さい。
- ・本日クラブ協議会があります。来年度の奉仕プログラムについて話し合う重要な会議です。例会後13時35分から始まりますので、出席中の会員はそのまま残して下さい。

❖米山功労者表彰(福元智子会長、石川和子会員、石原忠始会員、辻喜代子会員、時枝紀子会員、並木咲樹会員、岡田敏江会員、宮下文夫会員)

今年度の米山奨学会寄付について、8人の会員にマルチプル表彰状が届きました。

(岡田敏江米山奨学財団委員長代表コメント)

- ・今回当クラブ米山奨学会寄付が一人当たり1万4,000円レベルになっていましたが、20,000円のラインに届かせるためにこの8人から追加の寄付のご協力をいただきました。

ありがとうございました。今はクラブに対する目標額達成表彰は会長幹事会でひっそり行われていますが、2年前までは地区大会の出席者全員の前で高い壇上で感謝状をいただいて、とても素晴らしい時を過ごしたものです。又、ガバナーの方針により地区大会表彰に戻されればとても嬉しいです。今年は6月16日の会長幹事会での1人2万円目標達成の表彰が予定されています。今は会員数もか



なり増えていますので、この表彰の価値もとても高くなっています。

- ・私は2月3日(月)の例会に出られませんでした。その日は米山留学生29名と共に金沢へ研修旅行に行っていました。出発の朝は7時30分集合でとても早かったのですが、浅井ガバナーがわざわざお出掛け下さり、差入れとアドバイスのお話をいただき、参加者一同とても感激致しました。

❖クラブ協議会報告

本日例会後にクラブ協議会が開かれ、今年度実行中の国内奉仕活動の紹介、奉仕活動予算と補助金手配、地区補助金とグローバル補助金、実行中の国際奉仕活動(ケニヤ井戸掘り、2750地区所属グアムミクロネシアへのPBG支援)について急ぎ足で報告があり、次年度の計画としてパラリンピック支援、マンマー孤児院支援の2点について発表されました。ゲストとしてお招きした上野聡太さんにご自身の経験された学習支援プロジェクトや復興支援プロジェクト、子ども食堂プロジェクトなどのNPO活動の実績に基づく知見から、当クラブの今後の奉仕プロジェクト計画や中央区の社会実態に基づく新しい奉仕活動へのアドバイスなど貴重なご意見をいただきました。



福元智子会長	今日は久しぶりのクラブ協議会ですね。皆様で奉仕のこと沢山ディスカッションできることを楽しみにしています。
清宮普美代幹事	本日はゲストに上野聡太(そうた)さんをお呼びしました。子供の貧困の専門家でもあるのでクラブ協議会で少しシェアしていただきます。
大盛敬子会員	仕事の都合でしばらくお休みが続くと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。
岡田敏江会員	この度は皆様のお陰で私共のクラブも米山2万円達成することが出来ました。感謝申し上げます。 又、日・月曜日に米山奨学生29名と金沢に行っていました。
富田洋平会員	入会希望大石さんをご紹介致します。皆様よろしく願い申し上げます。
並木咲樹会員	先月おかげさまで池袋のビルが無事に完成し、竣工式を行わせていただきました。10階建てでホールも備わっております。学校も新しい校舎でオープンいたしました。ありがとうございます。
小沼百合子会員	坂本龍馬のいいなずけ、千葉道場のひとり娘千葉さなご子孫の卓話をお楽しみ下さい。

にここご合計 17,000円 / 今期累計 373,638円



「北辰一刀千葉家の秘話 ～佐那と龍馬～」

高知県観光特使
千葉 まい 様



【小沼百合子会員紹介の弁】

本日は坂本龍馬に恋した方のご子孫のお話をお聴きいただけるのでとても嬉しいです。龍馬好きから生じたご縁です。龍馬は19歳の時、故郷の高知から江戸へ剣術修行に出ますが、今でいえば日本からアメリカへ留学するようなものです。まいさんは千葉家のご子孫ですが、剣道は得意ではなく、フラダンスが趣味です。

【卓話】

- 私は、士業会長秘書を2年前に退職し、個人オフィスを立て上げていろいろなことを始めましたが、龍馬会で小沼さんと出会い、発掘され、私の現在の活動の一つである高知県観光特使のお仕事につながりました。
高知県観光特使には他に作家の家田荘子さん、女優広末涼子さんなどいます。本日テーブルにパンフレットをお配りした高知県の「アクトランド」には博物館が8つもあり、全27幕で構成される龍馬劇場のある龍馬歴史館が見所の一つです。
- 私は家系図のとおり、千葉周作の弟定吉の長男重太郎の直系の子孫になります。佐那は重太郎の妹にあたります。
北辰一刀流は、千葉周作が創立した流派で、当時江戸の三大道場と言われ、千葉道場では、龍馬・山岡鉄丹・清河八郎など著名人が修業を積んでいます。又、新選組の伊藤甲子太郎・山南敬助・藤堂平助なども千葉門出身です。
- 坂本龍馬は天保6年(1836年)土佐藩郷士の家に生まれ、子どものころから男勝りの乙女姉さんに育てられたと言われています。龍馬の剣術の腕前は千葉道場の免許皆伝と言われ、その後薩長同盟・大政奉還・亀山社中後の海援隊の創立などで大活躍しましたが、残念ながら大政奉還成立1ヵ月後の33歳の時に京都で暗殺されました。
龍馬のお墓は京都霊山護国神社に中岡慎太郎の墓と共にあり、現代でもお参りする方が途絶えません。
- 佐那は、天保9年(1838年)日本橋堀留町で千葉定吉の二女として生まれました。幼い頃から北辰一刀流を学び、10代で免許皆伝の腕前に達し、美貌で知られ、「千葉の鬼小町」と呼ばれていました。
伊達藩・宇和島藩・越前藩・高松藩など、江戸藩邸に出稽古に通い、姫君などの剣術師範を務めていました。
お墓は甲府市の清運寺にありましたが、2016年豊島区の仁寿院にも分骨されました。
- 重太郎は文政7年(1824年)、定吉の長男として生まれ、幼少時より北辰一刀流を学び、嘉永6年(1853年)には千葉道場を任され、道場を隆盛に導く実力者でした。お墓は豊島区雑司ヶ谷霊園に現存しています。ここには夏目漱石やジョン万次郎の墓もあり、大河ドラマの

影響でお参り客がとて多くなっています。

- 龍馬と佐那の出会い
龍馬は嘉永6年(1853年)、19歳の時に定吉の樋町千葉道場へ入門しました。
そのころ、佐那は15歳で北辰一刀流の免許皆伝として千葉の鬼小町と呼ばれる実力でした。当時の千葉道場は武士の出身でなくても剣術を学べ、合理的な教授法でそれまで10年かかるといわれた技の習得を5年で極められるようにしていたのです。そのため、千葉道場は現代まで生き残っています。
龍馬は、安政元年(1854年)修業を終えて一旦土佐へ帰藩しますが、安政3年(1856年)22歳で再度江戸の樋町千葉道場で2年間の修業を積み塾頭を務め、安政5年(1858年)24歳で千葉定吉から北辰一刀流長刀兵法目録を授けられます。
- 龍馬の佐那紹介手紙
龍馬(29歳時)がとても大事にしている乙女姉に出した手紙(文久3年(1863年)8月14日付と言われている)に佐那の紹介文があり、
「長刀順付ハ千葉先生より越前老公へあがり候江御中付にて、書きたるなり。此の人ハおさなというなり。今年廿六才になり候。馬によくのり剣も余程手づよく、長刀も出来、力ハなみ／＼の男子よりつよく、かほかたち平井より少しよし。十三弦のことよくひき、十四才のとき皆伝いたし申候よし。そしてゑもかき申候。心ばへ大丈夫二で男子などをよばず。夫二いたりてしづかなる人なり。ものかずいはず、まあ／＼今の平井／＼。」と書いています。
- 当時龍馬は脱藩中で、重太郎(39歳)が越前藩京都藩邸で村田己三郎と面談し、龍馬の脱藩の罪をなんとかできないか相談し、その1ヵ月後に脱藩の罪が許されたことを報告に来たとの記録が残されています。
- 佐那が明治期に女学雑誌に回想したところでは、安政5年(1858年)ころ婚約し、千葉家では短刀一振りを贈り、龍馬は紋付を返したともいわれています。
北辰一刀流の目録には千葉家を現す北斗七星と代々の免許皆伝者名として佐那と龍馬を含めています。
- 運命の別れ道となったのは刀では敵わない敵黒船でした。龍馬は嘉永6年(1853年)浦賀に停泊する黒船を見て衝撃を受け、後に勝海舟の薫陶を受け神戸海軍塾塾頭を務め、長崎で海援隊を設立するなど時代の荒波へ飛び出していったのです。
- その後の千葉家
NHKの大河ドラマ「龍馬伝」の中で、最後に、明治15年(1882年)東京の北千住で佐那が家伝の灸を生業として過ごしているシーンが出てきます。私の祖母の代までは、千住でお灸院を開いていました。脳梗塞にも効くとされ、動けないで来た患者が歩いて帰って行くと評判でした。
- 龍馬と佐那のロマンは、解明されていない部分もありますが、それも含め後世に伝え続けて、皆さんが少しでも歴史に興味をもって好きになって下さればとても嬉しいです。
本日はご清聴ありがとうございました。

(要約文責 宮下)

例会報告 第768回 2020年2月17日(月)

出席率 49.15%

出席者29名+メーキャップ0名

(正会員65名-休会6名)

❖ 幹事報告(清宮普美代幹事)

- 来週24日(月)は祝日で例会はありませんが、夜18時00分から地区大会前夜祭として「インターナショナルナイト」が開かれ、寛仁親王信子妃殿下もご臨席されます。

又、25日(火)には地区大会があり、会員の皆様は13:00からの本会議から出席可能です。14:00からは地区創立40周年記念講演「耳を傾けて」、夕方から地区のPBGグループによるフラダンスの記念公演や懇親会が開かれます。出入り自由ですから皆様どうぞお出かけ下さい。まだ登録受付中です。

- 出席者は何か赤いものを身に付けてお集まりください。地区全体の会合ですが、各クラブが自分たちはここにいてアピールする場でもあります。
- 本日は13時30分から帝国ホテルの2階で地区委員向けの研修会が予定されていますので、いつもより5、6分早く例会を終わらせるため進行を急ぎますが、よろしく願いいたします。
- 私は2月7日(金)のRLI(ロータリーリーダーシップ研究会)パートⅢを受講しました。研修の内容は少人数に分かれてロータリーのいろいろな重要テーマについて考え方や各クラブの実情を話し合うセミナー形式の集まりでした。ロータリークラブの活動をどう効果的にすすめられるかを次々と話し合っていくものですから、リーダーになる方だけでなく新入会員でも出席して、同じように有意義に研修を楽しむことができます。私のグループには青山RCの方がおり、青山セントグレース大聖堂で月2回の例会を開いているとのことがあり、すごいなと思いました。この機会にいろいろなロータリークラブを知るという実感も得られました。

追って、来期にも又パートⅠから順次パートⅢまで開かれていきますので、皆様どうぞ参加をお考え下さい。

❖ バナー交換報告(石原忠始会員)

- 先週の水木金と九州の小倉へ出張で行き、リーガロイヤルホテルで金曜日に例会をしている小倉RCへメーキャップ出席させていただき、バナー交換致しました。



白坂 亜紀 会員	日高RC会長白井さまにメーキャップにいらして頂きました。
時枝 紀子 会員	今月、誕生日をお祝い頂き、有難うございました。会員の皆様のパワーを益々いただきたいと思います。宜しくお願い致します。
野呂 洋子 会員	ララちゃんが引越して、家から居なくなつて寂しいです。
山下 江 会員	電子ビジネスマガジンSUPER CEO(スーパーシーイーオー)に情熱リーダーの一人として登場しています。ごらんください。
佐藤 幸子 会員	休会の承認ありがとうございます。

にここ合計 10,500円 / 今期累計 384,138円

ここの2700地区では2月29日にIM(地区内クラブ会合)が予定され、2750地区の舟木ポストガバナーが記念講演をする予定だそうで、下調べにきたのではないかと詮索されてしまいました。

- 小倉RCは、64.5名のクラブで、昨年70周年を迎え、この地区でも2,3を争う由緒あるクラブでしたが、女性会員は1名のみだそうで、「当クラブは8割以上女性ですよ」と自己紹介すると、「それはすごい。東京へ出張したときは是非当クラブへ顔を出してみたい」とのお話をいただきました。

❖ 米山功労クラブ表彰(当クラブ)

公益財団法人米山記念奨学会から、当クラブに第14回米山功労クラブ表彰の感謝状が届き、本日岡田敏江地区米山記念奨学委員から福元智子会長に交付されました。



❖ 米山功労者表彰(丸山富美江会員、山下江会員)

岡田敏江地区米山記念奨学委員から、丸山富美江会員と山下江会員に第2回マルチプル表彰状が交付されました。



❖ 会員増強賞授与(福元智子会長、清宮普美代幹事、岡田敏江地区米山記念奨学委員)

2750地区浅田豊久ガバナーから授与された会員増強賞を石原忠始周年行事委員長から福元智子会長(西村美寿穂会員の増強)・清宮普美代幹事(中西ふじ子会員の増強)・岡田敏江地区米山記念奨学委員(山本恭子会員の増強)に交付されました。



矢部 祐加子 会員

今日は仕事・子育て・今私が興味を持っていることについてお話をさせていただきたいと思います。

- 私は現在主人がパートナー弁護士を務める法律事務所の系列会社で代表をしております。主に事務員の管理、経理、広報などを担当しております。こちらのロータリークラブにお世話になり半年近くが経ちますが、皆様の華やかなお仕事ご活躍ぶりを見聞きし日々勉強させられています。どちらかという私は裏方の仕事。日々サポートに回っており、これは現在に限った事ではなく、実は主人が弁護士になる前から続けられてきたように思います。私は大学を卒業後地元の静岡銀行に勤めていたのですが、窓口、融資、外国為替、渉外と幅広い業務を担当させていただきました。両親は公務員の家庭で育ちましたので、銀行とは程遠い生活をしてきたため入行当初は戸惑うことばかりでしたが、それでも業務は楽しくがむしゃらに働いていました。主人はこの時ロースクール生でしたので、

そちらもサポートしつつ成績を残し、FPの資格も取得。結婚・出産と銀行員時代の10年間は本当に充実しあつという間でした。2人目の出産を機に退職。そこから子育てに専念。昨年ファイヤーサイドミーティングに出席した事が実に9年ぶりの夜の外出となったのです。私にきっかけを与えて下さったロータリーに本当に感謝し、あの日の事・感情を忘れないでいたいと思います。

- さて、主人の事務所ですが、幅広く案件を取り扱っています。なかでも最近ネット上での誹謗中傷の相談が増えています。主人も含めた専門家等とのコネクションで迅速に対応できますので、心配な方はぜひご相談を。
- 私が今興味があることが2つあります。ひとつめは、eスポーツです。広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使ったスポーツ競技のことを指します。簡単に言ってしまうと、複数人のプレイヤーで対戦するゲームをスポーツとして解釈して「eスポーツ」と呼びます。「スポーツじゃないじゃん。」と思った方。アメリカではすでに、国が「eスポーツ」を「スポーツ」として認めているのです。もともと私はあらゆるジャンルのゲームが好きで、趣味の範囲ですが観たりするのも好きです。
- もう一つは数学です。私が1番好きな科目が数学だったのですが、今でも数学の問題を趣味で解いたりしています。中学受験において、受験者平均点と合格者平均点の差が1番大きい差があるのは算数と言っても過言ではありません。今後娘の受験が終わったら受験生に少しでも還元していきたいと考えております。

(ご本人様要約)



中西 ふじ子 会員

フジコの冒険

- 幼い頃、私の関西郊外の自宅近くにアメリカ人のご家族が住んでいました。そこのお母さんから頂いた手づくりのクッキーは、これまで食べたことが無いような味で、いい香りがしました。その体験は少女時代の私にとって、海外への憧れとなつて行き、今でも鮮明に記憶しています。

「広い世界への窓」

成長して、社会人の第1歩は証券会社からスタートします。多くの「女子」社員の配属先は事務部門。

事務やアシスタント的な仕事はもちろん大切なのですが、程なくすると仕事に慣れ、「もっと自分を成長させるような厳しい仕事をしてみたい。仕事にやりがいを持ちたい」という思いが強くなりました。そして、自ら進んで、営業所で初めての女性の営業担当という選択をします。

仕事は覚えれば覚えるほど、出来るようになって結果が出るほど、面白くなり、仕事への情熱は更に強くなりました。

当時の社会では、女性は「職場の花」であることが役割です。数年働いたら良縁を見つけて寿退職することが「女性の花道」と言われる時代でもありました。

- 密かにある準備と企みをしながら働いて言いました。私

も会社を卒業することになり……。私は一人、アメリカへ旅立ったのでした。

アメリカでの生活は、とにかく「空気が自由!」でした。幼い頃から、「自分は人とちょっと違う」と感じながら暮らしてきましたが、アメリカでは「人と違うこと」が当たり前だと知り、なんと嬉しかったことでしょう。

- 帰国して、仕事を探す時には、私は自分が感じた「世界は広い」を伝える仕事をしたいと思っていました。そんな時に出会ったのが、「世界のどこに出ても活躍できるグローバル人材を育てる」という企業理念を持つ2社目の会社です。それから30年。公立、私立中学校・高等学校、自治体などのグローバル教育のコンサルティング、グランドデザインを主な仕事として、たくさんの人、学校、組織の「世界とつながる夢」を実現するお手伝いをしてきました。

自身の海外駐在経験(アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド)を通して英語の重要性を痛感し、青少年のための国内英語キャンプなど、多くの新しい異文化交流プロジェクトを自ら企画、商品化してまいりました。また、欧米だけではなく、アジアの限りない可能性を予感し、中国・西安市との交流プロジェクトなど新しい市場の開拓なども行いました。

- 次の飛躍の場を探していた区切りの年、音楽大学の企画広報というチャレンジングな新しいステージに上がることになりました。

「自由な発想で、新しい、これまでに見たこともないような事をやってみてください」と、言っていたいただいたのを良いことに元々、大好きな音楽や芸術とそれまで培ってきた企画・実現力を掛け合わせて、様々な新しいプロジェクトをスタートさせました。

青少年へのクラシック音楽と音楽大学の認知向上、地域創生のための音楽文化交流、音楽専門技術向上のためのクリニック講座、高校大学連携プログラム開発。ソロコンテスト支援、若い音大生の演奏機会、演奏場面の創造、地域の青少年の音楽活動の支援、等です。

初めは、音楽の専門家でない私に何が出来んだろうかと半信半疑でしたが、音楽大学での12年を振り返れば、私のそれまでの経験の全てを活かせ、情熱を傾けられる仕事に出会うことになりました。

私の仕事は、幼い頃にアメリカ人の方のクッキーに感じた「広い世界への窓」を提供することだ、ということに気づいたのです。

- 65歳の2017年4月。満を持して、独立いたしました。これは、ずっと以前から、密かに企てていた私の次なる野望です。

人生100年の時代ですから、私など、まだ折り返したばかり。日ごとに増す「好奇心」、私のお役目である「若手の育成」、そして強みである「音楽、海外交流」というキーワードを携えて、今、新しいスタート地点に立っています。

どうぞこれからの「フジコの冒険」を暖かく見守っていただければ幸いです。

(ご本人様要約)